

柳田邦男がおとなにすすめる絵本 心の砂漠にうるおいを

第1弾 24冊+11冊

『砂漠でみつけた一冊の絵本』より
柳田邦男/著 岩波書店 2004




著作者・訳者

出版社
出版年

メーカーコメントほか

●「生と死」、そして愛と悲しみと



1		1000の風 1000のチェロ	いせひでこ/作	偕成社 2000.11 1,430円	犬をなくした少年にお父さんが買ってきてくれたのは犬ではなく、チェロでした。阪神淡路大震災復興支援チャリティーコンサート「1000人のチェロコンサート」にむけて仲間と練習に励みます。1000のチェロ。1000人の物語。ひとりひとりの物語は違っても、気持ちをあわせればちゃんとひとつの曲になる。1000の音がひとつの心になる。
2		おじいちゃん わすれないよ	バット・ウェステラ/作 ハルメン・ファン・ストラテン/絵 野坂悦子/訳	金の星社 2002.7 1,430円	おじいちゃんのお葬式の日…。僕の胸にはおじいちゃんとの楽しい思い出がいっぱい。悲しい永遠の別れ、死の意味を受け入れる。日常の中におとずれた「死」を、澄みきった少年の目を通して描くオランダの絵本。
3		いつでも会える	菊田まり子/著	学研プラス 1998.12 1,045円	ぼくには、大好きで大切な人がいる。それは突然のことだった…シロが悲しみをのりこえる。突然おきた、身近で大切な人の死。そんな時、あなたはどうしますか？
4		岸辺のふたり Father and daughter	マイケル・デウドク・ドウ・ヴィット/作 うちだやこ/訳	くもん出版 2003.3 1,430円	岸辺で別れた父を想いながら、少女の人生は流れて…。あなたの大切な人は、いま、どこにいますか。別れからはじまる、小さなものがたり…。静謐な絵が、あなたの心を和ませてくれます。
5		あらしのよるに 完全版	きむらゆういち/作 あべ弘士/絵	講談社 2014.9 2,035円	オオカミのガブとヤギのメイの友情物語。2019年からスタートしたシリーズ全7巻が、一冊で読めます。
6		100万回生きたねこ	佐野洋子/作・絵	講談社 1978 1,540円	100万回生まれかわっては、飼い主のもとで死んでゆくとなねこ。飼い主たちはねこの死をひどく悲しんだが、ねこ自身は死ぬのなんか平気だった。ある時、ねこは誰の猫でもないのらねことなり、一匹の白いねこに恋をする…。本当に誰かを愛するということは…。この世に生まれた意味を問いかける絵本です。
7		海のいのち	立松和平/作 伊勢英子/絵	ポプラ社 1992.12 1,320円	父の命を奪った、巨大な魚を追うため漁師になった青年が、海の中で見たものは…。海のもつ豊かさを、感動的に描いた作品。
*		スーホの白い馬 モンゴル民話	大塚勇三/再話 赤羽末吉/画	福音館書店 1967.10 1,540円	「馬頭琴」の悲しい由来とは？モンゴルの大平原が画面いっぱい広がる、壮大な絵物語。
*		わすれられない おくりもの	スーザン・バーレイ/作・絵 小川仁央/訳	評論社 1991.9 1,320円	アナグマは、もの知りで賢く、みんなからとても頼りにされていた。冬のはじめ、アナグマは死んだ。かけがえない友を失った悲しみに、みんなはどうしていいかわからない…。友だちの素晴らしさ、生きるためのちえやくふうを伝えあっていくことの大切さを語り、心にしみる感動をのこす絵本です。
*		グレイのしっぽ	いせひでこ/作	理論社 1999.6 1,540円	アリの行列、折れた木の枝、日陰にのこった雪のかたまり…グレイが立ち止まると私も止まり、目と目が合うと、「いいものみつけたねえ」としみじみうなずきあった。一おまえは犬で私は絵描き。おまえの死をけて目をそらさないで見とどけよう。 中公文庫 2002.10 628円
*		赤いおおかみ	フリードリッヒ・カール・ヴェヒター/作 小沢俊夫/訳	古今社 2001.12 2,530円	生きるとは、こんなにもきびしくたいへんなことなのだ。しかし、それだからこそ勇気や愛が美しくかがやくのだ。ここには、孤独、愛、勇気、悲しみ、怒り、戦争と平和、そして「生と死」のすべてが深く語られている。


* 	ぼくのいのち	細谷亮太/作 永井泰子/絵	岩崎書店 1999.6 1,430円 白血病だったことを知らされたばかりがみしめるいのちの重さ。幼児から大人まで。
* 	レアの星 一友だちの死—	パトリック・ジルソン/文 クロード・K・デュボア/絵 野坂悦子/訳	くもん出版 2003.9 1,430円 レアはがんという病気にかかり、入院することになりました。友だちのロビンは、まい日、お見舞いにいきます。本を読んだり、おしゃべりしたり、いっしょに星を見上げたり。けれども、やがてふたりに別れの時が、訪れます…。レアとロビンの友情を通して命を静かに見つめる絵本。
* 	さよなら エルマおばあさん	大塚敦子/文・写真	小学館 2000.8 1,430円 ガンの告知を受けたおばあさんが、無理な延命治療をしないで、家族の温かな介護で死を迎えていくまでを写真とおばあさんの飼っている猫の目を通して綴ります。いつまでも忘れないよ。スターキティが語るおばあさんの思い出。ある夏の終わり、エルマおばあさんは、お医者さんから病気でもう長くは生きられない、と言われました。これは、おばあさんといっしょにすごした最後の1年間のお話です。

●想像力を取り戻そう

8 	きりのなかの はりねずみ	ノルシュテイン、コズロフ/作 ヤルブーソヴァ/絵 こじまひろこ/訳	福音館書店 2000.10 1,430円 霧の中ではりねずみが体験したのは、あこがれ、驚き、怖れ、そして、喜び…。そう、人生そのものなんだ。映像の詩人と呼ばれ、世界的に評価の高いロシアのアニメーション作家ノルシュテインが、短編アニメーションの傑作『きりのなかの はりねずみ』を、新たに絵本として見事に表現した。絵は、ノルシュテイン作品の美術監督でパートナーでもあるヤルブーソヴァが担当。詩情あふれる、美しく、味わい深い絵本。
9 	パリの青い鳥	ヴェロニク・ウィルマン/作 ジョエル・ルブロン/作 今江祥智/訳	BL出版 2003.2 1,540円 ジャンとネストル、小さなパリガイド。ママとはぐれてしまったジャンは1羽のハトに出会う。ハトはパリの街を案内しながら、ジャンをママの元へと…。モノクロの写真絵本。
10 	鳥の巣みつけた	鈴木まもる/文・絵	あすなろ書房 2002.4 1,320円 さまざまな鳥の巣、全35種をめぐる旅。巣から鳥の暮らしが見えてくる、美しい鳥の巣観察絵本。コウノトリからペンギン、サボテンミソサザイまで全35種を紹介！家のまわりの鳥の巣を探し、遠い外国の鳥の巣にも思いをめぐらす、美しいスケッチ絵本。
11 	クマよ	星野道夫/文・写真	福音館書店 1999.10 1,430円 アラスカの大自然のまっただ中に身を置き、悠久の時のかなたから響く声に耳をすまし、闇にひそむ動物たちの鼓動にわが身の鼓動を重ね、凛とした言葉と永遠の今を捉えた映像を残して、遠い世界へ旅立った星野道夫。その彼が、小さな人たちの魂にまでとどいてほしいと願った祈り…。
12 	くじらの歌ごえ	ダイアン・シェルダン/作 ゲイリー・ブライズ/絵 角野栄子/訳	BL出版 1991.6 1,540円 リリーのおばあさんは話し始めました。「昔はね、海にはくじらがいっぱいたのよ。くじらってね。山みたいに大きいのお月さまのように優しくてね。それはそれは不思議なものよ……」
* 	鳥の巣の本	鈴木まもる/著	岩崎書店 1999.4 1,980円 鳥の巣の作り方や大きさ、卵のふ化日数など鳥の巣に関することをイラストで解説した図鑑。
* 	詩画集 鳥の巣のうた	鈴木まもる/詩・絵	岩崎書店 1999.9 1,540円 鳥たちは、卵をうみ、ヒナをそだてるために、巣をつくります。サボテンにつくった巣、樹のてっぺんにつくった巣、滝の裏側につくった巣…ヒナを外敵からまもるための、精いっぱい工夫です。鳥の巣を通して、生きることへのひたむきさが、静かに、そして深くつたわる、生命の讃歌。

●生きることの過酷さ—人間疎外


13 	野坂昭如戦争童話集 沖繩編 ウミガメと少年	野坂昭如/作 黒田征太郎/絵	講談社 2001.6 1,980円 あの年の、6月23日から8月15日までの時間が、あの年からの、沖縄と本土との距離……忘れてはイケナイ物語り。「沖縄と向き合うことが、物書きとしての最後の務め」野坂昭如 x 黒田征太郎による渾身の戦争童話集。
14 	よだかの星	宮沢賢治/作 伊勢英子/絵	講談社 1986.11 1,760円 宮沢賢治の名作を深く解釈し、表現した絵本。姿が醜くて、仲間の鳥たちから毛嫌いされているよだかは、この地上のどこにも居場所のないことを感じ、天の星になるべく上空へと羽を上げていきます。

15		アンジュール ある犬の物語	ガブリエル・バンサン/作	BL出版 1986.5 1,430円	走行中の車から捨てられた一匹の犬。どんなに追いかけても走り去る車に追いつくことはできない。通るすぎていく車に、もしや飼い主が乗ってはいないかと犬は駆ける。期待の表情がやがて諦めに変わり、犬は浜辺を、町をさまよひ歩く……。 字のない絵本。
----	---	--------------------------	--------------	--------------------------	---

●こんな心のもち方が

16		きいろいばけつ	もりやまみやこ/作 つちだよしはる/絵	あかね書房 1985.4 990円	きつねの子が、丸木橋のもとで黄色いばけつを見つけました…。きつねのばけつへの想いを優しく温かく描く。
17		パパのカノジョは	ジャニス・レヴィ/作 クリス・モンロー/絵 もん/訳	岩崎書店 2002.1 1,870円	「カッコいい」「カッコわるい」ってどんなこと？ すごくカッコわるいパパの新しいカノジョと、あたしの微妙な関係…。
18		ありがとうともだち	内田麟太郎/作 降矢なな/絵	偕成社 2003.6 1,100円	おれのともだち、キツネが、初めてのお泊りにやってきた。嬉しくて楽しくて、いとこみせようってはりきって、つい言っちゃったんだ。でっかいウソを。だって「オオカミさん、すごいね」ってキツネがおれを見ると、むくむく力がわいてきて、なんでもできる気がするから。キツネ、みてるよー。ウソだってホントにしちゃえばいいよな。がっかりさせたくないから…。
19		だいじょうぶ だいじょうぶ	いとうひろし/作・絵	講談社 1995.10 1,100円	小さなぼくが不安な気持ちになると、いつもおまじないの言葉で助けてくれたおじいちゃん。 心にしみる絵本。
20		ちいさなちいさな王様	アクセル・ハッケ/作 ミヒヤエル・ゾーヴァ/絵 那須田淳・木本栄/訳	講談社 1996.10 1,430円	ある日、ふらりと僕の部屋にあらわれた、僕の人差し指サイズの気まぐれな小さな王様。 この世の中のことは全て本当のことなのか？僕の人差し指サイズの小さな王様。王様の世界では大きく生まれて成長するにつれ小さくなり、しまいには見えなくなってしまうという。 ドイツのベストセラー小説。
*		フレデリック ちょっとかわったのねずみのはなし	レオ・レオニ/作 谷川俊太郎/訳	好学社 1980 1,602円	食べ物やわらを集めて、冬たくをしているのねずみたち。でもフレデリックが集めたのは、光と色と言葉でした。それは一体なぜでしょう。

●人生にどう答えを出すか

21		木を植えた男	ジャン・ジオノ/原作 フレデリック・バック/絵 寺岡襄/訳	あすなろ書房 1989.12 1,760円	不屈の精神、心の寛大さ、たゆまない情熱。それが、すばらしい結果をもたらした。木を植え続け、見守り続けた男の人の生涯。エルゼアール・プフィエの半生。 未来へつながるヒントがそこにあるはず。
22		カモメに 飛ぶことを教えた猫	ルイス・セプルバダ/著 河野万里子/訳	白水社 1998.6 1,650円	猫のソルバが誓った三つの約束、でもその約束をまもるには、大いなる知恵とまわりのみんなの協力が必要だった…。 ヨーロッパで大ベストセラーとなった愛と感動の物語。 白水uボックス（新書） 2019.4 990円
23		満月をまっつ	メアリー・リン・レイ/文 バーバラ・クローニー/絵 掛川恭子/訳	あすなろ書房 2000.9 1,540円	今から100年以上前、アメリカのニューヨーク州ハドソンからそれほど遠くない山間の地方に、籠をつくって生計をたてる人たちがいました。丈夫で美しい籠を作るための技術と静かな情熱は、長い間、父から子へ、こんなふうに伝えられていたのです。木の声を聞き、風の歌を編む、籠作り職人の「こころ」を描いた絵本。
24		ペンキや	梨木香歩/文 出久根育/絵	理論社 2002.12 1,760円	喜びや悲しみ、浮き浮きした気持ちや寂しい気持ち、怒りやあきらめ、みんな入った「ユトリロの白」を塗りつづけたある職人の物語。
*		フーベルトとりんごの木	ブルーノ・ヘリラー/文 アルブレヒト・リスラー/絵 木本栄/訳	講談社 2001.8 1,760円	幾つもの季節を共に過ごした男とりんごの木。大きく立派なりんごの木は、誰からも愛され、持ち主の自慢でした。ある日、雷に打たれて二つに裂けたりんごの木は、もうたくさんの実をつけることもなくなり…。



*

ヴァイオリニスト

ガブリエル・バンサン/作
今江祥智/訳

BL出版

2001.1

2,640円

父親の期待を受け、コンクールに入賞を目指し幾度となく挑戦する青年。結果を出せぬまま、やがて、父親との確執の中で心を閉ざします。そんなとき、青年はひとりの少年と出会い、入賞だけが音楽ではないと……。

「生きていくこと」を問うガブリエル・バンサンの珠玉の一冊。

「今、おとなこそ絵本を」「絵本は人生に三度」は、柳田邦男先生のキャッチフレーズだ。
2022年、今あらためて『砂漠でみつけた一冊の絵本』を読みかえした。
かなりの数の絵本を手にしてきたつもりであったが、このリストの中に、手にしていない本が何冊も見つかった。
宝物を見逃していた。これはぜひ共有して、みんなの宝物にすべきだと思う。
それがこのリストを作成し、提供する動機となった。(野村邦重 2022/03/10)

柳田邦男がおとなにすすめる絵本 言葉と心の危機の時代に

第2弾 27冊+4冊

『砂漠でみつけた一冊の絵本』より
柳田邦男/著 岩波書店 2004

著作者・訳者

出版社
出版年
税込価格


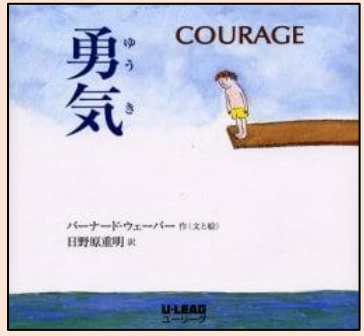

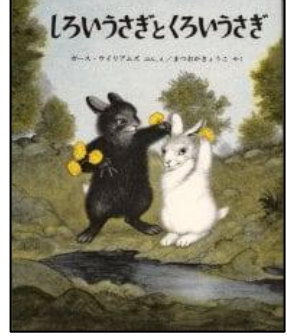
メーカーコメントほか

●想像力を再生させよう

1		かぜのでんしゃ	谷内こうた/文・絵	講談社 2003.8 1,980円	丘の上で目を閉じれば風の電車やってくる。草原をゆき、暗闇のトンネルを抜け、月夜を走る。熱望された名作絵本が、「ベストセクション」の1冊に。すがすがしい自然を「電車」で走る少年の夢。
2		だくちる だくちる はじめてのうた	阪田寛夫/文 長新太/絵 V・バレストフ/原案	福音館書店 1993.11 1,430円	昔々、イグアノドンは小さな翼竜と友達になった。翼竜のうなり声をイグアノドンは楽しく聞いた。なぜってそれは世界で初めての歌だったから。原始の世界へと想いを誘う美しい絵本。
3		おおきなかぶ	トルストイ/話 ニアム・シャーキー/絵 中井貴恵/訳	ブロンズ新社 1999.10 1,650円	イギリスの新進作家による魅力的な絵と、読み聞かせの会で活躍する中井貴恵の翻訳で、誰もが知っているあのお話が、今、よみがえります。
4		はくちょう	内田麟太郎/文 いせひでこ/絵	講談社 2003.7 1,760円	池が美しい白鳥に想いを寄せた。感動の絵本。傷ついた羽をひとり癒す白鳥に、小さな池は想いを寄せました。白鳥が飛び立ったその時……。詩人・内田麟太郎と画家・伊勢英子のコンビによる初めての絵本。
5		よるくま	酒井駒子/作・絵	偕成社 1999.10 1,100円	男の子は「よるくま」と一緒にお母さんを探しに夜の公園や、お店に出かけますが、見つかりません。「よるくま」は淋しさのあまり泣きだしてしまいます…。男の子の優しさや、母の愛情が伝わる、心温まる絵本。
*		なつのあさ	谷内こうた/文・画	至光社 1980 1,320円	誰の心にも時おりふとよぎる少年の日のひとこま。夏の朝のさわやかな匂い、白い風景、弾む自転車、汽車の音—絵本ならではの喜びがあらわれてくる。
*		スノーマン 新装版	レイモンド・ブリッグス/作・絵	評論社 2021.10 1,650円	男の子が作った雪だるまがその日の夜、急に動き出した。男の子は雪だるまを家に招き入れ…。文章がなく絵だけが描かれた作品。けれども読む人誰もがその絵の美しさに引き込まれる事でしょう。絵の持つ優しさが作品全体を印象づけます。 1998.10 初刊

●心が成長する瞬間



6		月夜のみみずく	ジェイン・ヨーレン/詩 ジョン・ショーエンハール/絵 くどうなおこ/訳	偕成社 1989.3 1,320円	月夜の雪の森で、わしみみずくに会った少女の胸の高鳴りと、大自然との交歓をみごとに描く詩の絵本。
7		ホッペル、ポツペル、 それともストツペル？	マックス・ボリガー/文 ユゼフ・ヴィルコン/絵 さくらちづる/訳	評論社 2003.9 1,430円	ホッペル、ポツペル、ストツペルは、とてもよく似た、子うさぎたち。母さんうさぎにも、見分けがつかないほど。困った母さんうさぎは、子うさぎたちを、旅に出すことにした…。子うさぎたちが、それぞれ自分らしい世界を見つけるまでのお話。
8		ジュゴンのくる海	宮里きみよ/文 ふりやかよこ/絵	新日本出版社 2001.3 1,650円	戦争が終わった年。沖縄は焼け、海人たちは、空腹のあまり、ジュゴンを食べた。海の神の使い・ジュゴン。それから、ジュゴンを見た者はいない。ウチナーの海にジュゴンが帰るのを待つおじいと少年。月明かりの海で出会ったジュゴンは—。
9		ジンガくん いちばへいく	ふしはらのじこ/作・絵	福音館書店 2002.7 1,430円	ジンガくんがおばあさんに卵を届けに市場へいくと、市場は人と家畜でこった返しています…。アフリカの大地でたくましく生きている人々の日常風景を生きいきと描いた絵本。
10		あの森へ	クレア・A・ニヴォラ/作 柳田邦男/訳	評論社 2004.6 1,650円	村はずれにある、暗くて不気味な森が、ぼくはいつも怖かった。ある日ぼくは決心した。森の本当の姿を確かめよう！ ぼくは、独りで出かけた…。勇気をふりしほって不安を乗り越え、未知の世界へ踏み込んだネズミくんが得たものは？

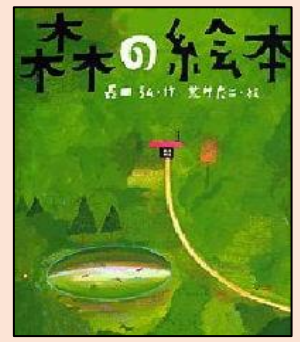


11		文字のない絵本	宮川ひろ/作 永田治子/絵	ポプラ社 2003.10 1,320円	絵本が大好きなまなみは、おばあちゃんの子どもの頃は絵本がなかったかわりに、文字のない大きな絵本を読んでいたという話を聞いて…。
12		勇気	バーナード・ウェーバー/文・絵 日野原重明/訳	ユーリーグ 2003.6 出版元倒産のため 入手不能	全米で大反響を呼んだ絵本『COURAGE』（バーナード・ウェーバー作）を、その内容に感銘を受けた日野原重明先生が翻訳。 戦争やテロ、不景気……、厳しい世の中だからこそ、子どもだけでなく、大人にも勇気をもってほしいという願いを込めて。
*		葉っぱのフレディ いのちの旅	レオ・バスカーリア/作 島田光雄/画 みらいなな/訳	童話屋 1998.10 1,650円	わたしたちはどこから来て、どこへ行くのだろう。生きるとはどういうことだろう。死とは何だろう。人は生きていくかぎりこうした問いを問いつづけます。この絵本が自分の人生を「考える」きっかけになることを祈ります。 本書は、アメリカの著名な哲学者レオ・バスカーリア博士が「いのち」について子どもたちに書いた生涯でただ一冊の絵本です。
		しろいうさぎと くろいうさぎ	ガス・ウィリアムズ/文・絵 松岡享子/訳	福音館書店 1980 1,320円	白いうさぎと黒いうさぎのやさしい愛の物語が墨絵のような濃淡でやわらかく語られます。森の情景の美しさ、こすえの葉のそよぎ、草のにおいまでが2匹のうさぎを祝福しています。

●この世界を見てますか？

13		ペドロの作文	アントニオ・スカルメタ/文 アルフォンソ・ルアーノ/絵 宇野和美/訳	アリス館 2004.3 1,430円	舞台は1970年代のチリ。軍国主義の波がひたひたと押し寄せ、ペドロの学校にも軍人がやってくる。両親は夜、どんなお話をしているか作文に書かされる。さて、3年生の少年は……。
14		はっぴいさん	荒井良二/作	借成社 2003.9 1,430円	「はっぴいさん」は困ったことや願いを聞いてくれるのです。「はっぴいさん」は山の上の大きな石の上に、時々来るのだそうです。「はっぴいさん、はっぴいさん、ほくらのねがいをきいてください！」「どうぞ、どうぞ……」 荒井良二が6年ぶりに発表する新作絵本。
15		世界の鳥の巣の本	鈴木まもる/著	岩崎書店 2001.8 2,420円	鳥は卵を産み、ヒナを育てるために巣をつくりまわります。鳥によって巣材も形も大きさも、みな違います。世界のさまざまな環境にすむ鳥たちの暮らしを巣との関係を絵と文で紹介する絵本図鑑。
16		ゴリラとあかいぼうし	山極寿一/作 ダヴィッド・ビシムワ/絵	福音館書店 2002.6 1,320円	アフリカ・コンゴの森の中。朝早く、きのこ摘みをした少年の一人が、自分の赤い帽子を落として行ってしまいます。さて、森に朝日がさし始め、ゴリラたちが目を覚ました。一匹の子供ゴリラがさっそく赤い帽子を見つけて頭にかぶってみます。そこにほかのゴリラたちもやってきて、帽子の取り合いが始まりました……。
17		せかいいち うつくしい ぼくの村	小林豊/作・絵	ポプラ社 1995.12 1,320円	小さなヤモは戦争にいった兄さんの代わりに市場へさくらんぼを売りに出かけます。戦争の中でも明るく力強く生きる人々を描く。 『せかいいち うつくしい村へかえる』2003.8

●心のもち方、心の向け方

18		おにいちゃんがいってよかった	細谷亮太/作 永井泰子/絵	岩崎書店 2003.9 1,430円	NHKスペシャル「こども輝け命」で大きな反響を呼んだ聖路加国際病院小児科部長細谷亮太の絵本。 お兄ちゃんの大好きなケーキを買ってきて家族で祝う誕生日。もういないけど、私はケーキをお兄ちゃんの分も切る。 兄弟を亡くした子の気持ちを温かく理解する絵本。
19		わかってほしい	MOMO/文 YUKO/絵	クレヨンハウス 2003.12 1,320円	真っ赤な背景に、クマのぬいぐるみ。「なぜ？」「なんのために産んだの？」。ページを繰るごとに、目を覆いたくなるほど痛々しい姿になっていくクマ。 親に虐待される子どもの気持ちを、真正面から描きます。
20		ライオンの へんな いちにち	あべ弘士/作	佼成出版社 2002.7 1,430円	久しぶりにひとりて出かけたライオンは、雨を待ちたくびれた動物たちに出会う。やがて雨の気配が強くなり……。 厳しい自然に對峙しながらも、ユーモアたっぷりのお父さんライオンが魅力的な絵本。

21		森の絵本	長田弘/文 荒井良二/絵	講談社 1999.8 1,540円	「森へゆこう」その声は言いました。「一番大事なものが森の中にある。君が一番大切なものがそこにある」あなたの一番大切なものを探しに行きませんか。 『空の絵本』2011.10 『水の絵本』2019.8
22		ずっとずっとだいすきだよ	ハンス・ヴィルヘルム/文・絵 久山太市/訳	評論社 1988.11 1,320円	エルフィーとぼくは、一緒に大きくなった。年月がたって、ぼくの背が伸びる一方で、愛するエルフィーは太って動作も鈍くなっていった。ある朝、目が覚めると、エルフィーが死んでいた。深い悲しみにくれないながらも、ぼくには、ひとつ、なぐさめが、あった。それは……
23		ともだちからともだちへ	アンソニー・フランス/作 ティファニー・ピーク/絵 木坂涼/訳	理論社 2003.3 1,870円	ため息ばかりのクマズミに、嬉しい手紙が届きます。「きみは すてきな ともだちです。きみと ともだちになれてほんとうに よかったと おもっています……」ところが、だれか書いてくれた手紙なのか、わかりません。そこでクマズミは差出人を探しに、友だちのところへ行くのです……

●空を見上げる心を					
24		雲のてんらん会 新装版	いせひでこ/作・絵	講談社 2004.5 1,760円	雲は毎日、空いっぱいに絵を描いている私たちが空の底で、泣いたり、笑ったりしている。空では風が吹いて、雲が絵を描きつけている…… さまざまな雲の表情を美しく切りとった、限りなく雄大な絵本。 初刊 1998.1
25		くもくん	いとうひろし/作	ポプラ社 1998.10 1,320円	いつも空をたびしている、くもくん。いろんなかたちになってみるけれど、本当の自分のかたちは……？ 楽しい冒険ができる秘密の場所を知ってるかい？それはね、砂場だよ。さあ、みんなも砂場にいってみよう！ ダイナミックな展開で、想像力が広がる絵本。
26		緑と風の丘 北フランスからの手紙	谷内こうた/著	講談社 2003.9 3,080円	谷内こうた画文集 りんごのお酒、ハート形のチーズ、印象派の画家たちが愛した深く美しい緑。フランス・ノルマンディーに暮らして20年。絵本作家・谷内こうたから届いた季節の便り。 長年フランスに暮らす著者から届く季節ごとの便りのイラストエッセイ。映画の1シーンのような日常風景は“本物”がわかる世代の心を洗う。
27		くものこどもたち	ジョン・バーニンガム/作 谷川俊太郎/訳	ほるぷ出版 1997.4 2,200円	アルバートは、山登りの途中、がけから落ちてしまった。でも、アルバートはうんがよかった。くものこどもたちがアルバートを受けとめてくれたのだ。みんなで、くものボールで遊んだり、くものレースをしたりして楽しくすごしていたのだが……。

「今、おとなこそ絵本を」「絵本は人生に三度」は、柳田邦男先生のキャッチフレーズだ。
2022年、今あらためて『砂漠でみつけた一冊の絵本』を読みかえした。
かなりの数の絵本を手にしてきたつもりであったが、このリストの中に、手にしていない本が何冊も見つかった。
宝物を見逃していた。これはぜひ共有して、みんなの宝物にすべきだと思う。
それがこのリストを作成し、提供する動機となった。（野村邦重 2022/03/10）

いまこそ大人が泣く絵本を 20冊+4冊

「女性セブン」小学館 2021.4.8
P. 134-137


「Fortuna」2020冬号 P. 60-63
★「大人こそ絵本を人生の友としよう」より

著作者・訳者






出版社
出版年
税込価格


雑誌記事より抜粋・メーカーコメントほか

●絵本コーディネーター東條知美さんが選ぶ10冊					
1		あなたのことがだいすき	えがしら みちこ/文・絵 西原 理恵子/原案	KADOKAWA 2018.5 1,100円	子育て期の母に優しく寄り添う 迷ったり、落ち込んだり…。子育てに奮闘中のママに贈るメッセージ絵本！西原理恵子氏のベストセラー『女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと』から生まれた、子育て中のママに贈るメッセージ絵本！
2		あおいアヒル	リリア/作 前田 まゆみ/訳	主婦の友社 2019.10 1,430円	親の介護に直面する前に読みたい 成長したワニがアヒルを抱えて回想する場面で始まるこの作品は、認知症の祖母と過ごす家族との時間の中で感じた著者の体験をもとに描かれています。
3		ぶたばあちゃん	マーガレット・ワイルド/文 ロン・ブルックス/絵 今村 葦子/訳	あすなる書房 1995.9 1,650円	大切な人をどう看取るか、教えてくれる 死を予感して、したくをはじめたぶたばあちゃんと、悲しみをこらえて寄り添う孫娘。ふたりの生と死の受けいれ方を描く。
4		Life (ライフ)	くすのき しげのり/作 松本 春野/絵	瑞雲社 2015.3 1,430円	悲しみに暮れているときに広げたい 町の外れに「Life (ライフ)」という小さなお店があります。でもお店といっても、だれかが働いているわけでも、なにかを売っているわけでもありません。ある冷たい風が吹いた日、一人のおばあさんが「ライフ」にやってきました…。冬の間も「ライフ」には、たくさんの人が訪れ、そしてすてきな春がやってきました。
5		猫のミーラ	井上 奈奈/著・文	よはく舎 2020.2 2,860円	ペットとの別れを経験した人へ 「今日、フリーダは眉毛をそりました」本と、ネコを愛するすべての人に。美しい世界観、装丁が話題となった『ウラオモテヤマネコ』の作者・井上奈奈さんによる新たな女の子とネコの物語。
6		はるとあき	斉藤 倫・うきまる/作 吉田 尚令/絵	小学館 2019.5 1,430円	会えなくても、友達はいつもそばにいる 季節のすばらしさ、相手を思いやる心、手紙を書くこと…忘れつつある大事なことを思い出させてくれます。
7		えのないえほん	斉藤 倫/作 植田 真/絵	講談社 2018.6 1,650円	寄り添ってくれる人の大切さを再確認 『どろぼうのどろぼん』の斉藤倫がおくる。醜くて孤独なケモノと、盲目の少女。2人の出会いから別れまでを描く。月の光が届かない場所の物語。
8		ガラスのなかのくじら	トロイ・ハウエル/作 リチャード・ジョーンズ/作 椎名 かおる/訳	あすなる書房 2018.5 1,650円	自分の居場所はここじゃない？ 知らないうちに 自由を待ち望んでいるすべての人へ。とんでごらん。勇気を出して。自分の本当の居場所がわかるから。
9		ここで土になる	大西 暢夫/著	アリス館 2015.10 1,540円	誰もが胸に抱く原風景が、ここに 小さな村の大イチョウ。ダム建設にゆれた村で、変わらず、動かず、そこに暮らし、土を耕し続けた夫婦がいる。
10		むこう岸には	マルタ・カラスコ/作 宇野 和美/訳	ほるぷ出版 2009.5 1,430円	多様性への理解が美しい絵とシンプルな言葉で わたしの夢は、いつかこの川に橋をかけること…。南米チリのイラストレーターが描く、明るい光と笑い声にみちた平和を願う傑作絵本。

●ノンフィクション作家 柳田邦男さんが選ぶ『会いたくて会いたくて』+3冊+座右の5冊★					
1		会いたくて会いたくて	室井 滋/作 長谷川 義史/絵	小学館 2021.2 1,320円	人生で大事なものを思い出せる！ 「行っちゃダメ！」おかあさんに止められたほくは、おばあちゃんにこっそり会いに…いま、いちばん大切に想う人と読んでほしい、心あたまる「幸せのしるし」の贈り物！読むと心が温まって大切な人に会いたくなる、人生で大切にしたい言葉が詰まった絵本。

2		けんちゃんのもみの木	美谷島 邦子/文 いせ ひでこ/絵	BL出版 2020.10 1,760円	突如家族を失った遺族による、祈りの一冊 空の安全を願い、ひたむきにいのちと向き合いつづけた母の軌跡。1985年8月12日、群馬県御巣鷹山に日航ジャンボ機が墜落。事故で9歳の息子を亡くし、心が迷子になってしまったお母さんは、焼けただれた山の斜面にもみの木を植え、くる年もくる年も、息子に会いに山に登り続けた。
3		ひばりに	内田 麟太郎/詩 うえだ まこと/絵	アリス館 2021.2 1,430円	温かいそよ風のように寄り添ってくれる ぼくはたんぽぽのわたげになろう。 きみがそらへとばすー。いま、ひとりであるあなたへ。 内田麟太郎とうえだまことが贈る詩の絵本。
4 ★		とんでいったふうせんは	ジェシー・オリベロス/文 ダナ・ウルエコッテ/絵 落合 恵子/訳	絵本塾出版 2019.9 1,650円	人の生老病死を見事に表現 「この銀色の風船はとりわけお気に入りのやつさ」おじいちゃんはいつものようにぼくの髪の中に指を突っ込んででもじゃもじゃくしゃくしゃにした。「ぼくだってお気に入りのだよ」ぼくは答えた。でも…。
★		めをとじてみえるのは	マック・バーネット/文 イザベル・アルスノー/絵 まつかわ まゆみ/訳	評論社 2019.7 1,760円	もうベッドに入る時間だけど、パパに聞きたいことがいっぱい。「どうして海は青いの?」「恐竜はどうしていなくなっちゃたの?」さあ、パパは何と答えてくれるのでしょうか。
★		あさになったのでまどをあけますよ	荒井 良二/著	偕成社 2011.12 1,430円	「山はやっぱりそこにいる、木はやっぱりそこにいる。だから僕はここが好き。」何気ない日々の繰り返し、毎日変わらずにある景色の中にいる自分。そこにこそ生きることの喜びがある。窓を開けて、今日もまた新たな一日が始まる。
★		おじさんのかさ	佐野 洋子/作・絵	講談社 1992.5 1,540円	大切にしている立派な傘が濡れるのが嫌で、絶対に傘をさそうとしないおじさん。ある雨の日、子どもたちの歌を聞いたおじさんは、初めて傘を広げてみた。すると……。子どもから大人まで、それぞれの人生経験に応じて様々な気づきを与えてくれるロングセラー。
★		だいじょうぶだよ、ゾウさん	ローレンス・ブルギニョン/作 ヴァレリー・ダール/絵 柳田 邦夫/訳	文溪堂 2005.11 1,650円	年若いゾウは自分の死期を悟るが、一緒に暮らす幼いネズミはそれを受け入れることができない。しかし、弱ってきたゾウを一生懸命ケアするうちに、ネズミの心は次第に成長していく。大人も子どもも家族の病気や死について考え、学ぶことができる貴重な一冊。

●女優 室井滋さんが選ぶ5冊(動物が登場する絵本) + 1冊					
1		ねこのおんせん	別役 実/作 佐野 洋子/絵	教育画劇 1986.4 1,320円	パンチのきいた風刺が印象的 なにしろ、アンデパンおんせんは、ねこのからだにとってもよくきくといわれています。たしかによくきくらしいのです。でも、なにかおかしい。いったい、それはなんでしょうか。
2		100万回生きたねこ	佐野 洋子/作・絵	講談社 1978 1,540円	何回読んでも泣いてしまう 幾百万の魂をゆさぶり続ける大ロングセラー。100万回死んで、100万回生まれかわったとらねこ。自分しか愛さなかった彼が、はじめて他者を愛したとき……。この世に生まれた意味を問ひかける絵本。
3		ねこのシジミ	和田 誠/作	ほるぷ出版 1996.9 1,980円	幸せな気持ちになれる シジミはたれ目目ヤニのきたない子猫でした。公園にすてられていたのをショウちゃんが拾ってくれたんです…。やってきた子猫の生活をやわらかな銅版画で描いた、人気イラストレーターの話題の絵本。
4		アンジュール ある犬の物語	ガブリエル・バンサン/作	BL出版 1986.5 1,430円	文字がないのに泣ける本 走行中の車から捨てられた一匹の犬。どんなに追いかけても走り去る車に追いつくことはできない。でも最後のページで希望が……。このうえなく美しいデッサン。宝物です。
5		日本昔ばなし 仙人のおしえ	おざわ としお/再話 かないだ えつこ/絵	<もん出版 2014.11 1,760円	自分の中の良心を確認できる 旅を続ける若者にふりかかる難題や仙人との出会い、はたして願いは無事かなうのか。主人公の若者と旅をする楽しさとともに、自らの願いは後回しにし、他人のために行動することによって得られる喜びの結末は、人間の生き方、命のありよう、自然との共存といった、人類の生きる知恵や思想が凝縮されています。

6		<p>しげちゃんのはつこい</p>	<p>室井 滋/作 長谷川 義史/絵</p>	<p>金の星社 2021.3</p>	<p>キュンとした気持ちが蘇る わたし、親切にしてあげたのに…。知らんぷりしたり、いじわるをいいたくなっちゃった!?</p>
---	---	--------------------------	----------------------------	------------------------	--

柳田邦男先生の『砂漠でみつけた一冊の絵本』にあるブックリストをHPに掲載したい旨、連絡をした折、岩波新書『人生の1冊の絵本』を紹介していただいた。そして「絵本は人生の心の友」のメッセージと合わせて、新聞や雑誌への掲載記事が、資料として送られてきた。その中から、「女性セブン」と「Fortuna」で紹介されている絵本のブックリストを紹介することにした。手にして読まないことには始まらない。(野村邦重 2022/03/18)

柳田邦男『人生の1冊の絵本』ブックリスト

岩波新書 2020.2

Part.1

- | | |
|-------------|-----|
| 1. こころの転機 | 12冊 |
| 2. こころのかたち | 27冊 |
| 3. 子どもの感性 | 13冊 |
| 4. 無垢な時間 | 16冊 |
| 計68冊 | |

絵本と出会い、何かが変わっていくかもしれない……。こころが何かを求めているとき、悲しみの中にいるとき、絵本を開いてみたい。幼き日の感性の甦りが、こころの持ち方の転換が、いのちの物語が、人を見つめる木々の記憶が、そして祈りの静寂が、そこにはある。150冊ほどの絵本を解説しながら、その魅力を綴る。

1. こころの転機

1	指がなくても、お母さんになれるんだ	さっちゃんのまほうのて	たばたせいいち 先天性四肢障害児父母の会の へあきこ、しざわさよこ/共同制作	偕成社 1985 1,320円	先天性四肢欠損という障害を負って生まれたさっちゃん。傷つきながらも右手の指がないという障害を受けいれ、力強く歩き始める。
2	少女のこころの危機と絵の力	きょうは、おおかみ	キョウ・マクレア/文 イザベル・アーセノー/絵 小島明子/訳	きじとら出版 2015 1,980円	バーシニアの心の庭に、きれいな花は咲くのでしょうか？憂鬱な妹と、朗らかな姉一想像力あふれる姉妹の物語。
3	疎外された少女に雪解けが	ジェーンとキツネとわたし	イザベル・アルスノー/絵 ファニー・フリット/文 河野万里子/訳	西村書店 2015 2,420円	少女の揺れ動く心を見つみずしく描くグラフィックノベル。
4	もうひとつのこころの動きが	ひみつのピクピク	フランチェスカ・サンナ/作 なかがわちひろ/訳	廣済堂あかつき 2019 1,760円	新しい生活にふみだす子どもたちを応援する絵本。
5		くろいの	田中清代/作	偕成社 2018 1,540円	細やかな銅版画で愛情をこめて描いたあたたかな世界。
6	自己否定が自己肯定に変わる瞬間	はこちゃん	かんのゆうこ/文 江頭路子/絵	講談社 2013 1,540円	「菓子」という名前をからかわれて悲しくなった、はこちゃん。その名前に込められた思いを知り……。親子のつながりを感じる絵本。
7		カーくん和森のなかまたち	夢ら丘実果/絵 吉沢誠/文	ワイス・アウル 2007 1,650円	自ら他の鳥と比較して生きる希望を失くしていく、ホシガラスのカーくん。仲間に自身の存在価値を、教えられ、「生きていていいんだ。音かいて本当によかった」と思い返し立ち直っていく。
8	障がいのある子どもの限らない創造力	がらくた学級の奇跡	パトリシア・ボラッコ/作 入江真佐子/訳	小峰書店 2016 1,650円	「がらくた学級」と呼ばれる特別クラスに振り分けられたトリシャは、型破りで温かいピーターソン先生のもと、個性豊かな仲間たちとともに、本物のがらくたから模型飛行機をつくりあげ、大空へと飛ばす夢にいとむ。
9		みんなからみえないブライアン	トルーディ・ラドウィッグ/作 パトリス・パートン/絵 さくまゆみこ/訳	くもん出版 2015 1,540円	きつとこのクラスにもいる「なんとなく自立できない子」が主人公。ちょっとした勇気や、小さな優しさがきっかけで、みんなが自分らしく輝けることを、あたたかいタッチで伝える。
10	何をすることが、いちばんだいじか	3つのなぞ	ジョン・J・ミュージス/作 三木卓/訳	フレーベル館 2012 1,540円	人として正しい行いとは？トルストイの民話『3つの疑問』を子ども向けに優しく説いた、ミュージスの会心作。
11	なにはともあれ外に出てみよう	ホイホイとフムフム たいへんなさんぼ	マージョリー・ワインマン・シャーマット/文 バーバラ・クローニー/絵 福本友美子/訳	ほるぷ出版 2018 1,540円	ホイホイは、一度も散歩をしたことがない友だちのフムフムを、散歩に誘いますが…。のんびりとした時間が流れる楽しい物語。
12		いっしょにおいでよ	ホリー・M・マギー/文 パスカル・ルメートル/絵 なかがわちひろ/訳	廣済堂あかつき 2018 1,650円	女の子はテレビのニュースを見ていて怖くなりました。テロやハイジャックに負けないために、できることってなんだろう？

2. こころのかたち

1	人はなぜ学び、なぜ働き、なぜ祈るのか	いのる	長倉洋海/写真・文	アリス館 2016 1,540円	何のために祈っているのだろう。神様に祈る人もいれば、先祖に祈る人もいる。でも昔、平和や健康などを大きな存在に祈っている。世界各地で著者が捉えた人々の姿と言葉。違いと共通点、そこから見えてきたものとは。
2		はたらく	長倉洋海/写真・文	アリス館 2017 1,540円	人は何のために、働くのだろう。真剣な眼差し、明るい笑顔。たくさんの人びとに出会い、見えてきたことは…。
3		まなぶ	長倉洋海/写真・文	アリス館 2018 1,540円	家で、学校で、社会でいろいろな人から、いろいろなことを「まなぶ」。その先にあるものは…
4	人はなにを求めて旅に出るのか	オレゴンの旅	ラスカル/文 ルイ・ジョス/絵 山田兼士/訳	らんか社 2018 1,980円	やがて大人になる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちのために。名作、待望の復刊。
5		クマと少年	あべ弘士/作	ブロンズ新社 2018 1,650円	山の神クマとアイヌの少年をめぐる壮大ないのちの物語。
6		ジャーニー国境をこえて	フランチェスカ・サンナ/作 青山真知子/訳	きじとら出版 2018 2,200円	戦争がはじまり、なにもかもがめっちゃくちゃになった……。安全な国をめざして森を抜け、海を渡り、母と子のながいながい旅が続きます。子どもの目線で語られる、心を揺さぶる物語。
7	感性が刺激される逆転劇	密林—きれいなひょうの話	工藤直子/おはなし 和田誠/絵	瑞雲社 2018 1,540円	ほくは、ひょうです。見てください。ほくのきれいな斑点を、つやつや、ひかひか、すてきでしょう。ほく、とてもじまんなんです。ところが…
8		サイモンは、ねこである	ガリア・バーンスタイン/作 なかがわちひろ/訳	あすなろ書房 2017 1,540円	サイモンは、ねこである。こねこvs大型ネコ科動物の対決…？！
9		コートニー	ジョン・バーニンガム/作 谷川俊太郎/訳	ほるぷ出版 2020 1,980円	だれもほしがらない、雑種でじいさんいぬのコートニー。でもコートニーはすてきだよ。 <新版>
10	このよで いちばんはやいのは	ロバート・フローマン/原作 天野祐吉/翻案 あべ弘士/絵	福音館書店 2011 990円	ウサギよりチーターは速い。チーターより新幹線、新幹線よりジェット機…。色々なものの速さを比べる。音より光より速いのは？	

11	光より速い 人間の想像力	トムテ	ヴィクトール＝リードベリ/作 ハラルドニウィーベリ/絵 やまのうちきよこ/訳	偕成社 1979 1,540円	しんしんと冷える北国の冬の夜、ひとり寝ずの番をする小人のトムテ。北欧の有名な詩と夜の神秘を描く絵に心がなごみます。
12		つきのぼうや	イブ・スパンク・オルセン/作・絵 やまのうちきよこ/訳	福音館書店 1979 1,210円	ある晩お月さまが下を見ると池に映ったもう一人のお月さまの姿が・・・月のぼうやお月さまのために冒険をします。空をどんと降りていき、雲を渡って海の底まで。
13		IMAGINE イマジン(想像)	ジョン・レノン/詩 ジャン・ジュリアン/絵 岩崎夏海/訳	岩崎書店 2017 1,870円	想像して、みんなが人生を平和に生きてるって。ー1羽の鳩がー生懸命に伝えまわっているもの。それは、国や何もかもを越えた平和と友愛。
14	ずっこけ、 でも明日があるさ	あたしも びょうきに なりたいな!	フランツ＝フランデンブルク/作 アリキニフランデンブルク/画 福本友美子/訳	偕成社 1983 1,320円	病気になったエドワードがうらやましい! だってみんなが優しくしてくれるんだもん! と、思っていると...
15		あなたって ほんとに しあわせね!	キャスリーン・アンホルト/作 星川菜津子/訳	童話館出版 2019 1,540円	今までは、お父さん、お母さん、そして私、3人家族だった。でも、お母さんが、赤ちゃんを生むことになり、私に弟ができた。赤ちゃんとお母さんが、姉弟として仲良くなる様子が描かれ家庭の温かさが伝わる絵本。
16		こんな日だってあるさ	パトリシア・ライリイ・ギフ/作 スザンナ・ナティ/絵 秋野翔一郎/訳	童話館出版 2018 1,650円	やることなすことが裏目裏目にて、友達から笑われたりからかわれたり、その度にタイラー先生から注意されて。でもこの先生はただのカミガミ先生ではありませんでした。子どもを良く見ている心の優しいステキな先生でした。
17	ファンタジーは グリーンワークの 神髄	おじいちゃんの トラのいる もりへ	乾千恵/文 あへ弘士/絵	福音館書店 2011	「こどものとも」2011年9月号 亡きおじいちゃんの魂を受け継いで、明日を生きようとする少年のすがすがしさ。 『月入石 乾千恵の書』(福音館書店 2005) 参照
18		おじいちゃんの ゆめのしま	ベンジー・ティヴィス/作 小川仁央/訳	評論社 2016 1,540円	大好きなおじいちゃんと船で出かけたシド。すばらしい島で夢のような時間を過ごした。でも、帰るときがきて... おじいちゃんと男の子の温かい物語。
19	ファンタジーの世界で 遊ぼうよ	ちいさなちいさな王様	アクセル・ハック/作 ミヒヤエル・ゾーヴァ/絵 那須田淳・木本栄/共訳	講談社 1996 1,430円	この世の中のことは全て本当のことなのか? 僕の人差し指サイズの小さな王様。王様の世界では大きく生まれて成長するにつれ小さくなり、しまいには見えなくなってしまうという。
20		とおい とおい おか	谷内こうた/絵・文	至光社 2005 1,320円	羊飼いの犬はある日羊たちと遠い丘へ行ききました。風と草の香りに包まれていると、羊がふわり空へ...。夢かうつつか、時空をこえた限りない希望の絵本。
21		ムーン・ジャンパー	ジャニス・メイ・ユードリー/文 モーリス・センダック/絵 谷川俊太郎/訳	偕成社 2014 1,540円	くたびれたお日さまが、うとうと眠りかけた丘におりてきて、空に月がのぼった! 夜の庭に出て、みんな裸足で踊ります。草を踏んで、何度も何度も! 風と一緒に、追いかけてきた。
22		みんなうまれる	きくちちき/作	アリス館 2014 1,540円	太陽がほほえむと、芽がうまれ、虫も生まれ、色がうまれ...そして、ほくも生まれ。やがて夕方になり、太陽がまぶたをこじると、星たちがうまれる。太陽が見守る中で、すべてのものがうまれていく。
23		リンゴのたび 父さんとわたしたちがオレゴンに はこんだリンゴのはなし	デボラ・ホブキンソン/作 ナンシー・カーペンター/絵 藤本朝日/訳	小峰書店 2012 1,650円	アメリカ開拓時代に、リンゴなどの果樹を運んで育てた一家のお話。勇敢だけとおつちよこちゃんお父と、しっかり者の娘との絆を描く、楽しくて心温まる物語。
24	いまひとたびの、 あの元気と明るさ	走れ!! 機関車	ブライアン・フロッカ/作・絵 日暮雅通/訳	偕成社 2017 2,640円	1869年、夏。ひとつの家族がアメリカ大陸の東から西へ向かって旅立った。開通したばかりの大陸横断鉄道に乗って、鉄の馬! 煙とともにやってきた大きな機関車、蒸気機関車は西へ続く鉄の道をひたすら走りつづける。
25		エマおばあちゃん、山をいく アパラチアン・トレイル ひとりたび	ジェニファー・サムズ/作 まつむらゆりこ/訳	廣済堂あかつき 2018 1,980円	67歳のエマ・ゲイトウッドは、全長3500kmのアパラチアン・トレイルを一人で歩き通した、初めての女性。雄大な自然の中で過ごす喜び、いくつになってもチャレンジするエマおばあちゃんのすがすがしさ。
26	五〇歳からの六歳児 感性の再生法	さびしがりのクニツ	トーベ・ヤンソン/作 渡部翠/訳	講談社 2019 2,200円	ひとりぼっちのクニツが、友だちを探して旅に出て、すてきなガールフレンドにめぐり会うまでの、魂の成長を温かく描いた絵本。 <新版>
27		プー あそびを はつめいする	AA.ミルン/文 E.H.シェパード/絵 石井桃子/訳	岩波書店 2016 1,100円	プーがコブタやウサギと一緒に、川に棒を投げて遊んでいたら、上流からイーヨーが流れてきました。

3. 子どもの感性

1	夢のなかで遊ぶ 子どもの世界	はんなちゃんが めをさましたら	酒井駒子/文・絵	偕成社 2012 1,320円	真夜中に目をさました女の子が初めてひとりて体験する夜の時間。しずかな夜の中で、ひそやかに気持ちがみだされる魔法のような時。
2		3びきのくま	ゲルダ・ミュラー/作 まつかわまゆみ/訳	評論社 2013 1,430円	金髪さき毛のゴルディちゃんが森の中で見つけたのは、3びきのくまのお家でした! 世界中で愛されているお話が、新しい、おしゃれな絵本になりました。
3		こくばんくまさん つきへいく	マーサ・アレクサンダー/作 風木一人/訳	ほるぷ出版 2013 1,430円	「こくばんくまさん」はアンソニーだけの不思議な友だち。ある晩、アンソニーが眠っている間に「こくばんくまさん」が作り始めたのは...
4	子ども時代を 生きるとは	かあさんは どこ?	クロード・K・デュボワ/作 落合恵子/訳	ブロンズ新社 2013 1,540円	災害、戦争、暴力、貧困...今も世界中の子どもたちが直面している、つらい出来事。「その子」はあなたであり、あなたの子ともかもしれません。壮絶な現実の中に、希望を見出すメッセージがこめられた1冊。
5		おかあさんは なかないの?	平田昌広/文 森川百合香/絵	アリス館 2013 1,430円	なみちゃんは、転んで痛くて泣いてしまいました。でも、お母さんが泣くのは、どんな時でしょう。注射したとき? それともおばけに出会ったとき? お母さんの涙が出るときは...
6		しげるのかあちゃん	城ノ内まつ子/作 大畑いくの/絵	岩崎書店 2012 1,430円	2トントラックを乗り回し、あらゆる工具をつかい使いこなす。世界一かっこよくて頼りになるしげるの母ちゃん。
7	おさな子が「おにい ちゃん」になるとき	ねえ、してる?	かさいしんべい/作 いせひでこ/絵	岩崎書店 2017 1,650円	みんなが君を待っているんだ。新しいいのちとの出会いとまどい、そして心からの喜び。
8	子どもが人生への 一歩を刻むとき	ひとりひとりの やさしさ	ジャクリン・ウッドソン/文 E.B.ルイス/絵 さくまゆみこ/訳	BL出版 2013 1,540円	転校生のマヤはクラスになじめず、学校に来なくなつた。先生は水の入った洗いおけに小石を落とし、優しさについて話し始め...
9		ひみつの川	マージョリー・キナン・ローリングズ/文 レオ&ダイアン・ティロン/絵 小島希里/訳	BL出版 2013 1,760円	森の奥にあるという秘密の川。様々な魚がすむその川を探して少女カルバーニャは出かけた。飢饉で飢えた村人を救うために。
10		はじめての旅	木下晋/文・絵	福音館書店 2013 1,650円	6歳の男の子が、お母さんと手をつないで出かけた。どこへいってもかわらず、ひたすら歩いていく。そしてたどり着いたところは?
11	どろんこのなかの 生きる楽しさ	ごたっ子の田んぼ	西村豊/文・写真	アリス館 2014 1,540円	ごたっ子たちが通う富士見町立本郷小学校は、長野県諏訪郡富士見町にある。標高は、約1080メートル。冬は、マイナス18度くらいになることもある。田んぼですごした楽しくて大切なとき...自然写真家西村豊の本。
12		カミツキガメは わるいやつ?	松沢陽士/写真・文	フレーベル館 2015 1,540円	外来生物のカミツキガメ。著者は世間のイメージとは違う姿と駆除される現実を目の当たりにする。人と生きものの関係を考える1冊。 『田んぼと水辺の生き物』(学研教育出版) 参照
13		クロテン	竹田津実/文・写真	アリス館 2012 1,540円	森の家にやってくる、いろいろな動物たち。出会ったのは二頭のクロテンだった。 北国からの動物記シリーズ『キツネ』、『エゾシカ』

4. 無垢な時間

1	生きものの眼差し、人間の眼差し	ジャガーとのやくそく	アラン・ラビノヴィッツ/作 カティア・チエン/絵 美馬しょうこ/訳	あかね書房 2015 1,540円	ハンディをのりこえて動物たちを守った少年の実話。吃音に悩み孤独だった少年時代、努力と勇気、そして動物たちとの絆を語る。
2	どうぶつが生きる、ひとが生きる	コウノトリ よみがえる里山	宮垣均/文 兵庫県豊岡市の人々/写真	小峰書店 2014 1,540円	日本から姿を消したコウノトリが戻ってきてから10年。兵庫県豊岡市での、コウノトリと人との四季のくらしを紹介していく。
3		ぞうのなみだ ひとのなみだ	藤原幸一/文・写真	アリス館 2015 1,540円	ぞうもひと、大切な命を守りたい。子ぞうのボロンは、大好きなお母さんといつも一緒。おとすれた突然の別れにボロンは…
4		返そう 赤ちゃんゴリラを お母さんに	あんずゆき/文	文溪堂 2013 1,430円	京都市動物園で、親から離れた赤ちゃんをもう一度両親のもとに戻すという、日本で初めての試み。ゴリラから人へ、人からゴリラへ…命のバトン=赤ちゃんゴリラはつながるか…
5	いのちを育む鳥の巣 讃歌	ふしぎな鳥の巣	鈴木まもる/文・絵	偕成社 2007 1,540円	鳥の巣は、鳥にとって一番大切な、卵やヒナを安全に育てる場所です。そのため親鳥は、敵に襲われないよう、また、寒さから卵やヒナを守るよう、いろいろな工夫をして巣を作っています。
6		ニワシドリのひみつ 庭師鳥は芸術家	鈴木まもる/文・絵	岩崎書店 2014 1,760円	オスが、巣とは違う美しい造形物を作るユニークな習性から、「庭師鳥」と名づけられた鳥。そのふしぎな習性のひみつを探る。
7		鳥の巣いろいろ	鈴木まもる/作・絵	偕成社 2006 1,430円	鳥は、卵をうむとき巣を作ります。巣の形、巣の大きさ、巣の材料、また、巣を作る場所、作り方は鳥の種類によって、いろいろです。鳥はなぜ、こんなにいろいろな巣を作るのでしょうか？
8	雪の森は ころを静寂の世界に	ゆきのよあけ	いまむらあしこ/文 あべ弘士/絵	童心社 2012 1,466円	のうさぎの子は、しものくるいで雪をけります。雪をけて、けて、けりあけます。息の続く限り雪をけり、前へ、前へと跳び出してゆきます。足を止めたそのときが、のうさぎの子のいのちの終わりなのです。
9		ちいさな あなたが ねむる夜	ジーン・E・ペンジウォール/文 イザベル・アルスノー/絵 河野万里子/訳	西村書店 2017 1,540円	北の国の静かな夜、子守歌のように神秘的な美しさを見せてくれる大自然。雪がそっと降りしめ、動物たちが姿をあらわし、いつしか空には星が輝きだします。大自然の鼓動を感じながらあたたかな室内でねむる子どもを見守る母…
10	無垢な時間を与えてくれる動物たち	わたしのろば ベンジャミン	ハンス・リマー/文 レナート・オスベック/写真 松岡享子/訳	こぐま社 1994 1,320円	スージーは、地中海の島に住む女の子。ろばのベンジャミンとは、散歩をするときも、夜眠るときもいつも一緒。少女と動物のふれあいを、詩情あふれるモノクロ写真で綴ってゆきます。
11		どうぶつがすき	パトリック・マクドネル/作 なかがわちひろ/訳	あすなる書房 2011 1,650円	チンパンジーのぬいぐるみジュビリーをおともに、いつも生きものを観察していた女の子シェーン。彼女には大きな夢がありました。それは…。動物行動学者シェーン・グードールの子どもの時代。
12		よつごのこりす はるくんの おすもう	西村豊/著	アリス館 2015 1,540円	はるくんは、兄弟のなっちゃんにおすもうを挑むが、すぐに負けてしまう。腕や足を鍛えたり、あきらめないで練習を続けて再挑戦！さて、勝負の結果は？
13		エゾリス	竹田津実/文・写真	アリス館 2015 1,540円	わが家に通ってきたアカキチ。4年間見守り続けたのちには…北国からの動物記シリーズ
14	冬でも生きている 小さいのち	ふゆのむしとり？！	はたこうしろう・奥山英治/作 はたこうしろう/絵	ほるぷ出版 2014 1,430円	あれ？冬に虫捕り網もって、お兄ちゃんどこ行くの？ザックザックザック。静かな冬の森に二人の足音が鳴り響く。生きものなんているのかな。
15		雪虫	石黒誠/文・写真	福音館書店 2021 1,430円	まるで雪がまようように、フワリフワリと飛ぶこの虫は、次の世代の卵を産むまでに、8～9回も「生まれかわる」ふしぎな生き方をしている。いわば「命のリレー」をして、次世代に生命をつなぐ。
16		ちいさな ちいさな めにみえないびせいぶつのせかい	ニコラ・テイビス/文 エミリー・サットン/絵 越智典子/訳 出川洋介/監修	ゴブリン書房 2014 1,650円	わたしたちの身のまわりにいる、目に見えない、ちいさな、ちいさな生きもの—微生物。その存在と、わたしたちの暮らしとの関わり、自然界での大きな役割を、子どもたちにわかりやすく伝える。

「大人こそ絵本を」
「絵本は人生に三度(幼少期、子育て期、中高年期)」
「大人の気づき、子どものころの発達」
 という呼びかけを始めて、二〇年になる。
 合理主義、効率主義、利己主義、ネット依存が支配的になっている索漠とした時代状況のなかで、この本が人々のところと人生の歩みに少しでも温もりをもたらすことができると願っている。
 私は人間のいのちやこころを不条理に破壊する戦争、災害、事故、公害、病気、凶悪事件、貧困などについて、その根源にある問題を明らかにしたいという思いで、半世紀余りにわたり取材・調査・執筆の活動を続けてきたが、特に八〇歳を過ぎてからは、それらの仕事をテーマ別に総括する作品群の執筆に取り組んでいる。
 この本は、その一冊でもある。

(『人生の1冊の絵本』あとがきより 柳田邦男)

柳田邦男『人生の1冊の絵本』ブックリスト

岩波新書 2020.2

Part.2	5.笑いも悲しみもあって	18冊
	6.木は見ている	16冊
	7.星よ月よ	19冊
	8.祈りの灯	17冊
計70冊		

絵本と出会い、何かが変わっていくかもしれない……。ここが何かを求めているとき、悲しみの中にいるとき、絵本を開いてみたい。幼き日の感性の甦りが、こころの持ち方の転換が、いのちの物語が、人を見つめる木々の記憶が、そして祈りの静寂が、そこにはある。150冊ほどの絵本を解説しながら、その魅力を綴る。

5.笑いも悲しみもあって

1	なんとなく笑えるって、いい時間だ	まめまめくん	デヴィッド・カリ/文 セバスチャン・ムーラン/絵 ふしみみさを/訳	あすなろ書房 2016 1,100円	お人形のくつをはき、マッチ箱の中で眠るまめまめくんは、ちっちゃいけれど何でもできた。小学校へ行くまでは……。みんなとちょっと違う子にエールをおくる。
2		どうぶつえんはおおさわぎ	二宮由紀子/文 あべ弘士/絵	文研出版 2015 1,430円	テンテンがなくなると「えんちようさん、たいへんです！」えんちようしつに、ソウのしゅうかかりさんが、どひこんてきました。テンテンがたくさんあると「えんちようさん、たいへんです！」えんちようしつに、ソウのじいがかかりさんが、どひこんてきました。
3		こらっ、どろぼう	ヘザー・テカヴェク/文 ビエール・プラット/絵 なかだゆき/訳	きじとら出版 2017 1,540円	「マックス、どろぼうをつかまえられるかい?」「なんだってつかまえて みせませうも!」ニンジンと、イチゴと、ママと、サクランボを、かたっぱしから 盗んでいくのは、誰?
4		108ぴきめのひつじ	いまいあやの/作	文溪堂 2011 1,650円	眠れぬ夜エマはヒツジを数える。頭の中に1匹2匹…おや、108匹目のヒツジが現れず…。注目の日本人作家デビュー作の逆輸入版。
5	不条理な悲しみの深い意味	ごんぎつね	新美南吉/文 箕田源二郎/絵	ポプラ社 1969 1,100円	ごんぎつねは、いたすばかりしている小ぎつねです。ある秋のこと、ごんは兵十の取った魚にいたすらをして逃がしてしまいました。実はその魚は兵十のお母が死ぬ間際に食べたかった魚でした。後悔したごんぎつねは…
6		ついていったちようちよう	新美南吉/文 山中現/絵	星の環会 2016 1,980円	新美南吉の名作「ついていったちようちよう」をやさしく繊細に描いた絵本。絵画のように鑑賞しながらイメージを膨らませることで、より深く主人公の気持ちを理解し感じることが出来ます。本版画家の山中 現によって生まれ変わった新たな新美南吉ワールドへ!
7		でんでんむしのかなしみ	新美南吉/文 野見山暁治/絵	星の環会 2016 1,980円	「私の背中の殻の中には悲しみがいっぱい詰まっている」と友達に打ち明けたかたつむりは、誰でも悲しみを持っていることに気づき、前えて生きることを決心しました。
8	やっぱりじんとくる純愛物語	クロコダイルとイルカ	ドリアン助川/作 あべ弘士/絵 映画『じんじん』事務局 発刊	メディアパル 2013 1,320円	でっかいでっかいクロコダイル。乱暴者でなんでも手当たり次第に食べていましたが、アヤカとなのかイルカに出会い…
9		ちいさいきみとおおきいぼく	ナティーン・プラン・コム/文 オリヴィエ・タレック/絵 磯みゆき/訳	ポプラ社 2013 1,540円	ぼくは一人だった。でも、君と出会うって、そして、君がいなくなって……。様々な「だれか想う気持ち」に寄り添う物語。
10	童話という語り口の深い味わい	わるいわるい王さまとふしぎの木	あべはじめ/作	あすなろ書房 2016 1,540円	砂漠の真ん中にすむ王さまは、わがままで、いつもぶんぶん怒ってばかり。こんなに悪い王さまなんて、聞いたことがありません!でも、あるとき…
11		げんこつげんたろう	くすのきしげのり/作 伊藤秀男/絵	廣済堂あかつき 2015 1,760円	げんげんこつげんたろう。誰にも言わないおいらの気持ち。じっくり読むと絵からお話が見えてくる…
12		彼岸花はきつねのかんざし	朽木祥/文 ささめゆき/絵	学研教育出版 2015 1,650円	広島に原爆が落ちる少し前のこと。「あたしにばかされたい?」というきつねと出会った戦争は、原爆は、一瞬にして命とおもしろいものを奪う。遠い戦争の痛みはわからなくなっても、その悲しさなら気持ちを重ねられるかもしれない。
13	少年が本に魅せられるとき	ぼくのブックウーマン	ヘザー・ヘンソン/文 デイビッド・スモール/絵 藤原宏之/訳	さ・え・ら書房 2010 1,540円	今から、80年前のアメリカ。学校にかよえない不便な場所であつて、子どもたちへ図書館の本を運びつづける人たちがいた。
14		トマスと図書館のおねえさん	バット・モーラ/文 ラウル・コローン/絵 藤原宏之/訳	さ・え・ら書房 2010 1,540円	親切な図書館員と出会い、本を読むよこびを知ったトマス…。カルフォルニア大学学長の幼い日の思い出をもとにうまれた、心温まる感動の絵本。
15		図書館ラクダがやってくる 子どもたちに本をとどける世界の活動	マーグリット・ルアーズ/著 斎藤規/訳	さ・え・ら書房 2010 1,540円	本を読むのを楽しみにしている子どもたち。それなのに本がない。世界にはそんな所がたくさんあります。それぞれの土地の図書館員やボランティアたちは、ラクダ、ソウ、自転車や船を利用し、あるときは、かついで本を届けています。
16		としよかんのよる	ローレンツ・パウリ/文 カトリーン・シェラー/絵 若松宣子/訳	ほるぷ出版 2013 1,540円	ネズミをおいけてキツネは、図書館にたどり着いた。字の読めないキツネだが、毎晩通いはじめる。いったい、何があつたの?
17	生きるに値すると思えるとき	サンパギータのくびかざり	松居友/文 ボン・ベレス/絵	今人舎 2015 1,760円	リンは、サンパギータの花を糸でつなげてくびかざりを作ります。それを売ったお金で、病氣のお母さんに、ごはんを買って帰るためです。ところが、せっかくなつくくびかざりは、ちっとも売れません。
18		パパ・ヴァイト ナチスに立ち向かった盲目の人	インゲ・ドイチュクローン/作 ルーカス・リュウゲンベルク/絵 藤村美織/訳	汐文社 2015 1,760円	ユダヤ人がユダヤ人というだけで、地獄の苦しみをあたえられていた。第二次世界大戦中のドイツ。一人の男がユダヤ人の命を救うために立ち上がりました。彼の名は、オットー・ヴァイト。

6.木は見ている

1	木は見ている、人の生涯を	最初の質問	長田弘/詩 いせひでこ/絵	講談社 2013 1,650円	中学3年生の国語教科書にも掲載されている詩「最初の質問」。繰り返される問いかけが、いせひでこの絵とともに、深い思索へと誘う。
2		ならの木のみた夢	やえがしなおこ/文 平澤朋子/絵	アリス館 2013 1,540円	「おみやげを買ってきてあげるよ」こどもがそれはまだ小さな男の子だったので、はっと目をかがやかせて言いました。ならの木と少年の、長い約束の物語。
3	木に育まれる人間のこころ	わたし木、こころの木	いせひでこ/絵・文	平凡社 2014 1,650円	木にまつわる物語・絵本を描きつづける作家いせひでこ。木と人とのまじわりを描いた珠玉の12編。木が放ついのちの輝きへの賛歌。
4		フランシスさん、森をえがく	フレデリック・マンソ/作 石津ちひろ/訳	くもん出版 2014 1,760円	毎朝、フランシスさんは、鉛筆と消しゴムと画用紙を持って、森へ向かいます。木の幹をはいがかり、ふかふかのコケの上に座って、森の木々を、一つ一つ丁寧に描いていきます。でも、あるときその森が滅ぼされそうになったのです。

5	花のいのち、 人のいのち、 しみじみと	はじまりのはな	マイケル・J・ローゼン/文 ソーニャ・ダノウスキ/絵 蜂飼耳/訳	くもん出版 2014 1,650円	渡り鳥のローザはじぶんのほっぺたと同じ色をした“ほっぺのはな”が大好き。秋になり旅立つ時がきても“ほっぺのはな”のたねを手放さない。
6		ルピナスさん 小さなおばあさんのお話	バーバラ・クーニー/作 掛川恭子/訳	ほるぷ出版 1987 1,430円	おばあさんがまだ少女だった頃、「世の中をもっと美しくするために何かをしてほしい」という約束を、おじいさんと交わしました。そしておばあさんになったときに起こした行動は、次の世代にも引き継がれる、とてもステキなことでした。
7	森を守った物語	木はいいなあ	ジャンス・メイ・ユードリイ/作 マーク・シーモント/絵 さいおんじさちこ/訳	偕成社 1977 1,100円	登ったり、落ち葉で遊んだり、こかげで涼んだり…木っていいよね。
8		モミの手紙	ロバート・フロスト/作 テッド・ランド/絵 みらいなな/訳	童話屋 1999 1,650円	農夫が育てているのは、ルサムモミの木で、断じてクリスマスツリーなんかにする木ではありません。農夫は、反だちに手紙を書き、自慢のルサムモミの木を一本丸ごと絵に描いて送ってやりました。…
9		森のプレゼント	ローラ・インガルス・ワイルダー/作 安野光雅/絵・訳	朝日出版社 2015 1,430円	「大草原の小さな家」の原作『大きな森の小さな家』のクリスマスを安野光雅の絵と訳で描き下ろした家族愛いっぱいのお話。
10		すばこ	キム・ファン/文 イ・スンウォン/絵	ほるぷ出版 2016 1,650円	巣箱は、人が作った鳥の家です。素材も、形も、大きさも色々。身近な自然保護であり、作ってみれば毎日ちよっと楽しくなる巣箱、じつはドイツの貴族の男性が初めたって、知っていましたか？
11	落ち葉たちの 円舞曲	木の葉つかいは どこいった？	ビーナ・イラーチェ/文 マリア・モヤ/絵 小川文/訳	きじとら出版 2015 1,760円	秋になると、木の葉つかいがやってきます。ぼうをふって、葉っぱたちにすてきな飛び方を教えるのです。でも、今年の秋は…木の葉つかいがこないだなんて、どうやって落ち葉になればよいのでしょうか！
12		さわさわもみじ	ひがしなおこ/作 きうちたつろう/絵	くもん出版 2013 880円	秋の訪れを感じさせてくれるもみじ。風が吹くとさわさわわわともみじが舞って、周りの景色を赤や黄色に染める。そんな秋の風情を味わえる一冊。
13		こねこのえんそく あきのもり	竹下文子/文 さこももみ/絵	ハッピーオウル社 2016 1,430円	子猫の兄弟、えいたとびいことしーちゃん、ある秋の日にとんぐりもりへ遠足に出かけたよ。なにをして遊ぶかお楽しみ！
14		鹿踊りのはじまり	宮沢賢治/作 たかしたかこ/絵	偕成社 1994 1,760円	忘れた手拭いを取りに戻った嘉十が見たものは、手拭いを囲んで相談しあう鹿たちの姿だった？清々しくも心温まる名作の絵本化。
15	葉っぱの旅、 なんと深い感動が…	かえでの葉っぱ	デイジー・ムラースコヴァー/文 関沢明子/訳 出久根育/絵	理論社 2012 1,980円	美しい風景の中を旅する、ある葉っぱの物語。風に乗り、川を下り、雪の下で春を待ち…季節の中で姿を変えつつ、葉っぱははがて…。
16		もりのてぶくろ	八百板洋子/文 ナターリヤ・チャルシナ/絵	福音館書店 2010 990円	黄色い葉が1枚、森の小道に落ちていた。通りすがりの動物たちはみな、そっと手をあててゆき…。
7.星よ月よ					
1	星は見えない夜も そこにあって	いつでも星を	メアリ・リン・レイ/文 マール・フレイジー/絵 長田弘/訳	ブロンズ新社 2012 1,650円	星をめぐる詩の絵本。森の苔、たんぽぽの綿毛、雪の結晶…そして夜空を見上げれば、すぐそばにいつでも星はこんなにあるんだ。
2		この世界いっぱい	リス・ガートン・スキャンロン/文 マール・フレイジー/絵 長田弘/訳	ブロンズ新社 2011 1,650円	愛する人ひとと共に繰り返される日々への喜び。「世界はやっぱり美しい」と信じられる愛と信頼のメッセージ絵本。
3	まるい月に 目を輝かせる 赤ちゃん	きょうはそらに まるいつき	荒井良二/作	偕成社 2016 1,540円	ふと見あげた空にみつけた、まんまるいお月さま。町でくらす人たちに、山や海のいきものたちに、やさしい光がふりそそぐ夜。
4		よるのかえりみち	みやこしあきこ/作	偕成社 2015 1,430円	抱っこされて家に帰る男の子の目に、夜の街の情景が映る。一日の終わりを思い思いに過ごす人々を静謐なトーンで描き出す、おやすみの絵本。
5	強烈な色が ひらく異界	あおのじかん	イザベル・シムレール/文・絵 石津ちひろ/訳	岩波書店 2016 1,870円	夕ぐれのと、空は水色から濃紺へだんだんと色を変えます。とくべつな「時」をあげよう美しい絵本。
6		はくぶつかんのよる	イザベル・シムレール/文・絵 石津ちひろ/訳	岩波書店 2017 1,980円	だれもいない夜の博物館で、昆虫や恐竜や動物がいっせいに目をさまします！圧巻のナイトミュージアム。
7		シルクロードのあかい空	イザベル・シムレール/文・絵 石津ちひろ/訳	岩波書店 2018 1,980円	美しいチョウとの出会いを求めて、若き昆虫学者が中国北西部を旅する。圧倒的な画力で描く壮麗な世界。
8	静寂のなかの音、 のどを潤す冷水	よるのおと	たむらしげる/作	偕成社 2017 1,540円	男の子が池のほとりを歩いておじいさんの家につくまでのほんの数秒。その間におこる小さなドラマとそこにひろがるゆたかな世界。
9		よあけ	ユリー・シュルヴィッツ/作・画 瀬田貞二/訳	福音館書店 1977 1,320円	静まりかえった夜明け前の湖。やがてさざなみが立ち、もやがこもり、こうもり、蛙、鳥たちが目を覚ました。
10		みずくみに	飯野和好/絵・文	小峰書店 2014 1,540円	里山うまれのちよちゃんは沢遊びが大好き。犬のくろとおいしい水をくみにいく。新緑や沢の水、山の生き物を生き生きと描く。
11		おじいさんとヤマガラ 3月11日のあとで	鈴木まもる/作・絵	小学館 2013 1,540円	おじいさんは鳥が大好き。ヤマガラがヒナを育てるために巣箱をつけてあげている。震災の年も、いつもと同じように巣箱をつけていた。今年もヒナは巣立つことができるだろうか？心配でたまらないが…。
12	目に見えない ものこそ	うみべのいす	内田麟太郎/作 nakaban/絵	佼成出版社 2014 1,430円	浜辺にぼつんとある椅子は、座りたいと思えば、誰だって、いつだって、その椅子は受け入れてくれる。ずわっているのはだれかしら？
13		まちのひろばの どうぶつたち	井上コトリ/作	あかね書房 2015 1,320円	ある町の広場に動物たちが暮らしていた。でも知っている人はだれもいないのはなぜ？ふしぎな動物たちのやさしいお話絵本。
14		やぎのしずかの しんみりした いちにち	田島征三/作	偕成社 2015 1,430円	悲しさや、美しさがむねにしみて、しみりしてしまっただけか。励ましてくれたのは、いつもの反だちと、やさしい風だった。
15	夢幻の世界に こころ漂わせて	ねむりどり	イザベル・シムレール/作 河野万里子/訳	フレーベル館 2018 1,870円	さあ、パジャマを着て、冒険に出かけよう。眠っている動物を起こさないように、静かに、足をふみだして…。眠りに入るまでのひとときを冒険への準備にみだして、眺むものを心地よい眠りへ誘う、シムレールの美しい絵本。
16		100年たったら	石井睦美/文 あべ弘士/絵	アリス館 2018 1,650円	会いたいーライオンと鳥がたどる、せつなく壮大な物語。
17	人生の最後の 「贈り物」とは	こころのおと	ピーター・レイノルズ/文・絵 なががわちひろ/訳	主婦の友社 2016 1,430円	あふれる音を、心のままに弾いていた少年ラジ。その音を愛した父は、息子の才能を伸ばそうと音楽教師を招くが…。親だからこそ、子どもへ伝えることができる人生の歌とは？
18		3日ずつのおくりもの	レミ・クルジョン/作 こたましおり/訳	文溪堂 2016 1,650円	長生きできるのは、幸せなことだけど、もっと幸せなのは…？子うさぎと、ひいおじいさん…見送る者と見送られる者との心温まる交流を通じ、幸せな生とは、幸せな最後とは何か…

19		ありがとうエバせんせい	ヒラリー・ロビンソン/文 マンディ・スタンレイ/絵 きむらゆかり/訳	絵本塾出版 2015 1,430円	これはエバ先生と私たちのクラスみんなのお話です。
8.祈りの灯					
1	祈りの灯、 消えないように、 消えないように	きょうというひ	荒井良二/作	BL出版 2005 1,430円	少女が今日という日のために身につけるものをこしらえ外に出て今日という日のためにろうそくの火を灯します。はじめはさきやかにそして次第に少女の世界全体を。消えないように消えないように……。
2		雪の花	セルゲイ・コスロフ/原作 オリガ・ファジェエヴァ/絵 田中友子/文	偕成社 2018 1,980円	「雪の花がなくちゃ、クマくんは死んじゃうかもしれない…ほくがきつと見つけてくる！」高い熱で苦しむ、なかよしのクマくんのため、ハリネズミは森の奥へと駆け出していきます。どこに咲いているのか誰も知らない、「雪の花」を探しに…
3	亡き人の実感が こころにストンと	いつまでもいっしょだよ 日航ジャンボ機御巣鷹山墜落事故で逝った健ちゃん	みやじまくにこ/作・画	扶桑社 1988 880円	事故後、深い悲しみに沈んでいた私達家族を温かい心で包み、心の支えとなってくれた亡き子と同年代の見知らぬ子どもたちへ「ありがとう」の気持ちをこめ、又、犠牲となった520人の人々の命の重みを、とりわけ、幼い50人の子どものための鎮魂の想いをこめて、この絵本を作りました。
4		パパの柿の木	谷口真知子/作 亭島和洋/絵	星湖舎 2016 1,760円	ありきたりな日々がとっても大切。日航機事故で突然夫を亡くし、絶望の中から柿の木の成長に励まされながら子どもたちと懸命に生きてきた女性が、命の大切さを伝える。
5		ずっとつながってるよ こぐまのミシュカのおはなし	入江杏/絵・文	くもん出版 2006 1,100円	2000年12月31日未明に東京都世田谷区で起きた「事件」。「命の尊さを伝えたいという思いとともに、不条理な別れに遭遇した方々の悲しみを、この絵本が少しでもいやすことができるなら」…
6	空を翔ける 空想家のメッセージ	おばあさんのひこうき	佐藤さとる/作 村上勉/絵	小峰書店 1979 1,650円	おばあさんは、編み物の名人です。ちょうちんの模様を編んでいると、編み物が、ずういっと、浮かび上がりました。…さて、おばあさんは、このふしぎな編み物で、どんなことをするのでしょか。
7		リンドバーグ 空飛ぶネズミの大冒険	トーベン・クールマン/作 金原瑞人/訳	ブロンズ新社 2015 2,420円	知りたがりやの小ネズミは、人間の図書館で何日も本を読みふけていた。ある日、仲間のところに戻ってみると、ネズミは1匹もいない。ハンブルグからニューヨークへ小さなネズミが、大西洋を飛んだ！…
8		そらいろ男爵	ジム・ボム/文 ティエリー・デテュー/絵 中島さおり/訳	主婦の友社 2015 1,430円	そらいろの飛行機でだれにもじゃまされずに鳥をながめていたそらいろ男爵。けれども、地上で、戦争がはじまって…
9	言葉のない絵本の インパクト	ぞうさん、どこにいるの？	ハルー/作 柳田邦男/訳	光村教育図書 2015 1,430円	ぞうさん、どこにいるの？おむさん、どこにいるの？へびさん、どこにいるの？森の木さんたち、みんなだいじょうぶ？
10		やめて！	デイビッド・マクフェイル/作・絵 柳田邦男/訳	徳間書店 2009 1,760円	「No」という一言が世界を変える。静かに「暴力反対」を訴える。
11		わたしの「やめて」	自由と平和のための京大有志の会/文 塚本やすし/絵	朝日新聞出版 2015	「戦争と平和を見つめる絵本」安保法制に反対する「京大有志の会」が発表し、大きな共感を呼んだ声明書。その「こども語訳」が絵本になった一冊。
12	空襲、 こころに刻まれる あのこの死	あのこ	今江祥智/文 宇野亜喜良/絵	BL出版 2015 1,980円	終戦間際のある村で、疎開してきた少女「あのこ」は、馬と話すことができるという。村の子どもたちは庄屋の馬を連れだして…
13		一つの花	今西祐行/文 鈴木義治/絵	ポプラ社 1977 1,100円	おとうさんが戦争に行く日、見おくりのプラットホームで幼いゆみ子にさしだしたいちりんの花、それは……。
14		火垂るの墓	野坂昭如/著	ポプラ社 2006 627円	昭和二十年、戦争のなか親も家も失い、二人きりになってしまった兄妹。十四歳の清太と、四歳の節子が、つたなくもけんめいに生きようとする姿をえがいた名作。〈ポプラポケット文庫〉
15	戦争や災害を どう伝えるか	タケノコごはん	大島渚/文 伊藤秀男/絵	ポプラ社 2015 1,430円	ハワイが小学校にいたところ、日本の国は中国と戦争をしていました。「世界のオーシマ」、映画監督の大島渚が、世界中の子どもたちへ贈るメッセージ。
16		とどけ、みんなの思い 放射能とふるさと	夢ら丘実果/文 渡辺あきお/絵	新日本出版社 2014 1,650円	キジトラ猫のチャーサの物語。あの事故さえなければ、今も、ほくは、野山を駆けまわっていたら——原発事故で福島を追われた猫が語る、ふるさとへの思い。
17		ふくしまからきた子	松本猛・松本春野/作 松本春野/絵	岩崎書店 2012 1,430円	広島市にすむ小学生で、サッカーが大好きなだいじゅ。原発事故をきっかけに母の実家、広島市に引越してきたまや。二人の交流を通じて、原発と、私たちの未来を考える絵本。

「大人こそ絵本を」
「絵本は人生に三度（幼少期、子育て期、中高年期）」
「大人の気づき、子どものこころの発達」
という呼びかけを始めて、二〇年になる。
合理主義、効率主義、利己主義、ネット依存が支配的になっている索漠とした時代状況のなかで、この本が人々のこころと人生の歩みに少しでも温もりをもたらすことができればと願っている。
私は人間のいのちやこころを不条理に破壊する戦争、災害、事故、公害、病気、凶悪事件、貧困などについて、その根源にある問題を明らかにしたいという思いで、半世紀余りにわたり取材・調査・執筆の活動を続けてきたが、特に八〇歳を過ぎてからは、それらの仕事をテーマ別に総括する作品群の執筆に取り組んでいる。
この本は、その一冊でもある。
(『人生の1冊の絵本』あとがきより 柳田邦男)

『砂漠でみつけた一冊の絵本』から「大人にすすめる絵本」のブックリストを作成しました。
柳田邦男先生から資料提供をいただき、次に「今こそ大人が泣く絵本」のブックリストを作成しました。
そして、ここに『人生の1冊の絵本』で紹介されている138冊のブックリストを作成しました。
「その絵本と出会い、何かが変わっていく……」（帯の言葉より）、本当にそう思います。
ぜひ手に取って読んでみてください。そして、「読み聞かせ」してください。その輪が広がっていくことを期待して……
野村邦重 2022.03.24